

議会だより のだ

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

2020
2/7
第150号



なもみ襲来!

第2回定例会（令和元年12月）

主なもの

【特集】小学校建設どうなる・・・P2、3
定例会のあらまし・・・P4、5
村政に鋭く切り込む～一般質問・・・P7～15
議会人として研鑽積む・・・P17

1月15日、小正月の伝統行事「なもみ」が村内の子供のいる家庭を練り歩きました。「いい子にするがぁ?」と迫られると子供たちは「いい子になります」と泣きながらもしっかり約束していました。

基本計画 策定へ



基本設計等経費
5000万円増額補正

12月10日に開会した12月定例会で野田小学校の新築に伴う基本設計などに係る経費5000万円を増額する補正予算案が提出されたほか、一般質問を行った8人のうち、5人の議員から野田小学校に関連した質問をするなど議論が繰り広げられました。

Q & A

問 補正予算の小学校建設基本計画等経費の内容は。

教育次長 測量、地質調査、造成設計及び道路設計等に係る経費を今回補正するもの。基本設計分は当初予算で措置しているため、その他を含む全体計画を作るもの。

問 一括発注とのことだが、地質調査の結果で違う場所を検討することもできるため、それぞれ発注すべきではないか。

教育次長 一括発注する理由は、調査結果を基に全体計画を効果的に策定することや時間の短縮、経費の削減を

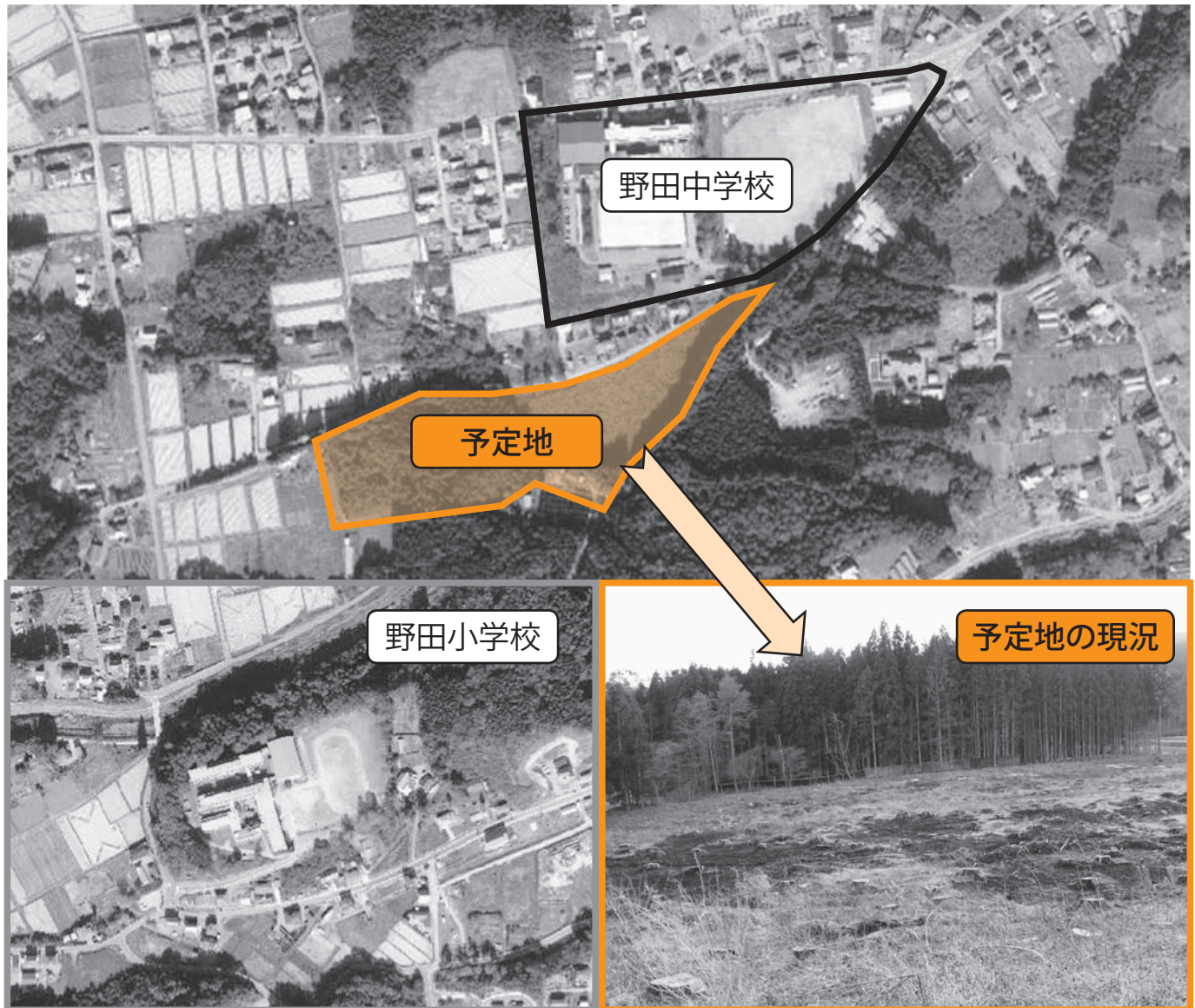
図るためである。

問 住民の理解が得られていない段階で場所を決定するのは時期尚早ではないか。

村長 色んな意見があるなかで判断したもので、これを理解いただけるよう努力を重ねていく。



小学校建設に向け



立地条件

- 津波浸水区域外
- 約1万㎡以上の敷地を確保できる場所
 - ・現校舎の3分の2の規模
 - ・校庭は、現在と同規模を想定
- 交通安全に十分配慮した場所
- 災害等、登下校中の安全に配慮した場所
- 騒音に配慮した場所

村では、野田小学校の整備事業を実施するにあたり、小学校整備のための基本構想や基本計画などを検討するため、「野田村立野田小学校整備検討委員会」を立ち上げました。委員には、副村長や教育長、教育委員のほか、小学校長・副校長及び学校関係団体の役員、小学校PTA会長・副会長、地域団体関係者、交通安全関係者などから村長が委嘱しました。

これまで3回ほど検討委員会を開催し、建設地の立地状況などを含め、候補地を選定しました。

村では、検討委員会の意見を基に21世紀むらづくり委員会や住民懇談会を経て、建設予定地を選定しました。

福祉灯油 購入助成事業実施

12月
定例会

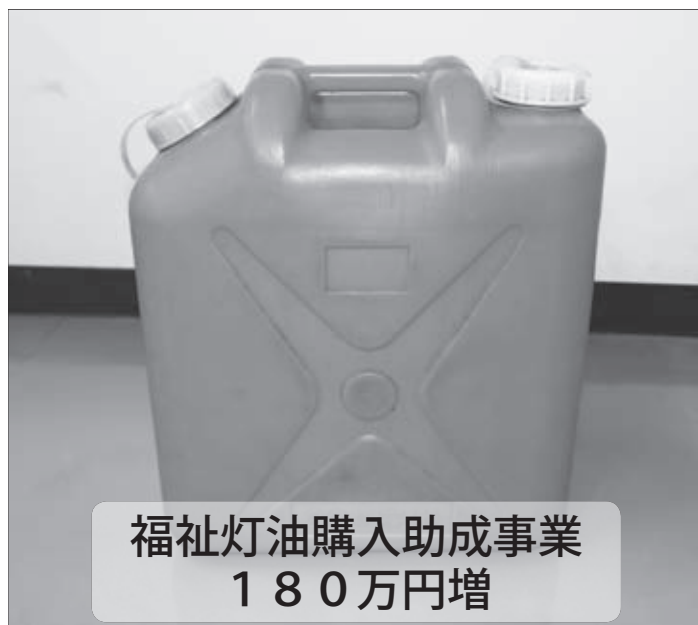
第2回野田村議会定例会が12月10日から13日までの4日間を会期として開催されました。
本定例会には、一般会計・特別会計の補正予算や専決処分の報告、条例改正などの議案等が提出され、審議を行いました。
11日には、8人の議員が一般質問を行いました。

補正予算

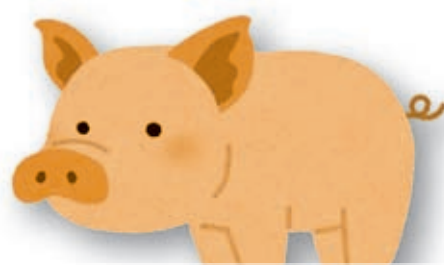
2億684万円の増

一般会計では、歳入・歳出それぞれ2億684万8000円を増額し、総額で45億5472万7000円となりました。

歳出の主なものは、福祉灯油購入助成事業の実施に係る経費や台風19号により被災した三陸鉄道に対する復旧事業費負担金、養豚農場へのアフリカ豚コレラの侵入を防ぐための支援事業費などが計上されました。



福祉灯油購入助成事業
180万円増



アフリカ豚コレラ侵入防止緊急
支援事業費補助金 405万円



三陸鉄道災害復旧事業費
負担金 2938万円

Q & A

地域包括支援センター
直営経費の内容は

問 地域包括支援セン
ター直営経費のうち、
委託料の内容は。

保健福祉課長 電話や
システムの移設経費。

受動喫煙防止施設
(喫煙所) 内容は

問 受動喫煙防止施設
設置工事の内容は。

総務課長 役場の宿直
室入り口付近に特定屋
外喫煙場所を設置する
もの。

産直はあふる火災
過失責任は

問 農林水産物直売所

修繕委託経費88万円の増額に関し、火災の原因はコンロで炭をおこしていたことにより、コンロの近くにある換気扇付近が炭化したためとのことだが、過失についてはどう処理するのか。

産業振興課長 使用
方法の誤り等は証明で
きないため、過失の割
合などは調査していな
い。

福祉灯油購入助成事業
対象は

問 福祉灯油の購入助
成事業の件数は。

保健福祉課長 生活保
護世帯、高齢者のみ世
帯、障害者がいる世帯、
ひとり親世帯のうちの
非課税世帯約350世
帯ほどが対象となり、
1世帯に対して500
0円の助成となる。

非正規雇用の職員 処遇改善図る

会計年度任用職員制度の概要

1. 任用形態

第1号会計年度任用職員（パートタイム）

- ・勤務時間は、週38時間45分未満とし、職員個々で決定します。

第2号会計年度任用職員（フルタイム）

- ・勤務時間は、常勤職員と同一（週5日・38時間45分）とします。
- ・職種は、①看護師、②保健師、③栄養士、④地域おこし協力隊、その他となります。

2. 任期

会計年度（4/1～翌年3/31）の範囲内で個別に決定します。

3. 給与

- ・任用前の職業経験等と勤務時間に基づき、個々に決定するほか、職種に応じて個別に上限を定める。
- ・期末手当（ボーナス）や通勤手当など各種手当を支給します。

条例改正

会計年度任用職員
給与条例等定める

地方公務員法等の規定により令和2年度から会計年度任用職員制度が始まることから、会計年度任用職員の給与等に関する規定を定める「会計年度任用職員の給与等に関する条例」が提出され、可決されました。

会計年度任用職員は、パートタイムの第1号とフルタイムの第2号に分かれ、職種に応じて区分されます。

Q & A

問 年収の増減はあるか。

総務課長 事務補助の職員でみると、現在は150万円ほどだが、

改正後、1年目は185万円ほど、2年目で190万円ほどとなり、30万円から40万円ほど増える見込み。

成年被後見人 権利保護を図る

成年被後見人であることを理由に不当に差別されることのないよう、成年被後見人等の権利に係る制限が設けられていた一般職の職員関係条例や消防団員関係条例など既存の5

条例をまとめて改正しました。

基金設置

森林環境税と税 森林整備に活用

森林環境税及び森林環境税と税に関する法律の施行により今年度から交付される森林環境税は、間伐や担い手の確保など、法令で使途が定められてい



森林整備のための間伐のほか、担い手の確保のため事業などに活用します

人事案件

村教育委員に

佐藤仁昭氏

令和元年12月31日で任期満了となる小原良樹氏の後任として、新たに佐藤仁昭氏に教育委員を任命することに議会が同意しました。任期は、令和2年1月1日から4年間です。



佐藤 仁昭氏
（本町・55歳）

ることから、確実な事業執行とその実績の公表、財源の管理を明確にするため「森林環境税と税基金」を設置しました。

台風19号災害対応 的確・迅速に

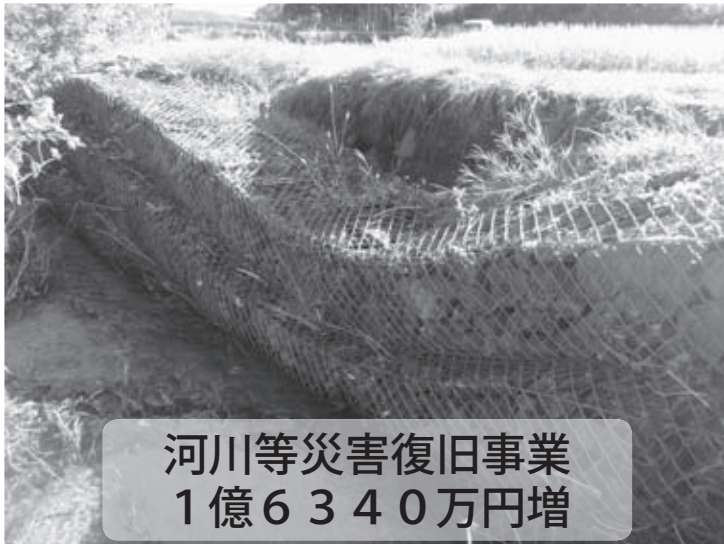
10月
臨時会

第2回野田村議会臨時会が、令和元年10月28日の1日間を会期として開催されました。
本臨時会では、台風19号被災に伴う災害復旧事業費などの補正予算案が提出され、審議を行いました。

補正予算

3億9951万円の増
一般会計では、歳入・歳出それぞれ3億9951万円を増額し、総額で45億5472万円としました。

歳出の主なものは、台風19号により排出された災害廃棄物の処理に係る経費や破損した道路などの復旧事業費等が計上されました。



河川等災害復旧事業
1億6340万円増



道路維持管理経費
2921万円増



災害廃棄物処理経費
723万円増

－陳情第2号－

件名：私学教育を充実・発展させるための陳情

要旨：過疎地域の私立学校への助成金の充実を求める意見書を国等に対して提出されたい。

陳情者：私学助成をすすめる岩手の会
会長 土屋 直人



国等に意見書を提出

－陳情第1号－

件名：国による妊産婦医療費助成制度創設等を求める陳情

要旨：妊産婦など福祉医療費の国庫負担の削減措置を廃止するよう国に対して意見書を提出されたい。

陳情者：岩手県保険医協会
会長 南部 淑文



国等に意見書を提出

陳情

12月定例会までに受理した陳情2件を所管の常任委員会に付託し審議を行いました。

村政を問う

一般
質問

議員 8 人が登壇

一般質問は、村の行政事務全般（一般事務）に関し、村の所見や疑義について質問することができ、定例会（原則）でのみ行うことができます。

質問時間は、1人**60分**となっており、1つの質問につき**3回まで**質問することができます。

野崎 泰斗 議員 (P8)

－ 終末処理場 二次災害防止策を－



丹野 和子 議員 (P9)

－ 会計年度任用職員の改善点は－



古舘 幹男 議員 (P10)

－ 災害に強い村づくりを－



山田 陽子 議員 (P11)

－ 台風19号を教訓に何を得たか－



小野寺 豊 議員 (P12)

－ 小学校建設予定地 再検討を－



米田 徳一郎 議員 (P13)

－ 少子化対策の成果は－



障子上 文義 議員 (P14)

－ 村民のニーズ把握十分か－



中川 昇 議員 (P15)

－ 新年度予算の編成方針は－



終末処理場 二次災害防止策を

村長 国に防水扉等の設置を提案したい



野崎 泰斗 議員

問 宇部川の氾濫について、常に危惧してきたが、現実のものとなった。次の豪雨災害に備え、直ちに行うべきこととして、氾濫箇所である野田橋の両側堤防部分にかさ上げか防護壁が必要と思われるが。

村長 県からは、堤防のかさ上げを含めた対策を考え、他の河川を含めた河道掘削や支障となる流木等の除去を行う、との回答を得た。

問 野田橋付近の氾濫箇所に対する対策は。

村長 全体的にかさ上げが必要。現実的に調査し、必要な部分は行っていく。

問 村民の多くが利用している終末処理場が、常に冠水する長地の水田地帯に建設されている関係で、災害に遭わなかった村民までトイレを使えない二次災害が心配されるが、対策は。

村長 国土交通省と協議を行い、開口部に止水板及び防水扉等の設置について提案することで準備を進めている。

問 福祉避難所の「ことぶき荘」は、明内川に隣接し、近隣からも一段低い所にある、過去に河川敷でもあったことから豪雨の際は避難すべき施設ではないか。安全対策は。

村長 本村には、現時点で洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域に「ことぶき荘」を含む、要配慮者利用施設は設置されていない。

問 今回の豪雨災害をどう総括し、危険箇所に住する村民に対する取組みは。

村長 避難者数は、最大24名で、雨が強くなった深夜の危険な時間帯に44名、約20%の方が避難。危険箇所は災害復旧事業の導入や県に事業要望する。

問 避難勧告が、雨の音や風により聞こえが必ずしも一定していない。要支援者等に対しても十分確認していく必要があるのではないか。

村長 のんちゃんネットの利用や消防団員である職員が浸水しそうな地域を回って声掛けをした。

シルバー人材センター 設立の考えは

問 シルバー人材センターは、蓄積された経験と能力・技術を持った幅広い人

材の宝庫であり、こういう方々にあらゆる職種の後継者の育成を委ねることが、村の振興・活性化を図るうえで必要不可欠である。県内33市町村のうち本村だけに組織がないことをどのように考えているか。

村長 本村のみ組織されていないことは承知している。後継者及び担い手不足の農家や漁家等の支援団体として、シルバー人材センター的なものも含め、労働力をつなぐ体制の整備を検討したい。

問 仕事が多すぎてできない人たちが自宅にこもっている状況は、村にとっても決して歓迎すべきことではない。仕事を促して活動することや元気で長生きをし、村にとっても活性化につながると思うが、考えは。

村長 仕事をしたい、また、技術を持つている方にお願いたいのという方々とか、つながるような仕組みを急ぎ検討していく。



浄化センターの災害防止のための対策を講じる必要があります



丹野 和子 議員

会計年度任用職員の改善点は

村長 期末手当等 年収増加の見込み

小学校建設 スケジュールは

問 野田小学校建設場所について、住民懇談会において説明が行われたが、その際、住民からどのような質問、意見が出され、答弁はどうであったか。また、今後は、どのような予定で進めるのか。

教育長 住民懇談会の質問は、工事中スケジュール、跡地の利用等であった。それに対し、今後、基本設計や造成を経た後、財源となる過疎対策事業債の関係で令和2年度中に工事に着手したい。跡地の利用に関しては、学校以外の活用等を今後検討していく、と回答している。

問 小学校建設は、住民にとつては大きな関心ごとであると思うが、PTAへの説明等も含めて、今後どのような方法で住民に知らせていくのか、その方法を問う。

教育長 いろいろなスケジュールも進むので、その

都度広報等を使って住民に周知していきたい。

問 12月定例議会において、提案された小学校関係の補正予算の使途を問う。

教育長 野田小学校の建設場所について、現地の測量、地質調査、造成設計、道路設計等を追加した。

会計年度任用職員制度 内容は

問 臨時職員・非常勤職員が、法改正により会計年度任用職員に移行することになった。本村の対象人数は。

村長 特別職を除き、現時点で41名。

問 具体的に改善される内容は。

村長 期末手当の支給に伴う年収の増加など。

問 財源の見通しは、どれくらいか。

村長 財源は、1年目で約1000万円、2年目では

1500万円を超える見込み。

問 継続的な雇用は、保証されるのか。

村長 単年度ごとに公募・選考する。

問 フルタイムの「第2号会計年度任用職員」とパートタイムの「第1号会計年度任用職員」があるが、それぞれどのような職種か。

村長 第2号会計年度職員は、看護師・保健師・栄養

士・地域おこし協力隊等、第1号会計年度任用職員は、事務等の補助を行う職員となる。

図書館に 雑誌を設置する考えは

問 図書館の雑誌購入を増やす考えはないか。

教育長 生涯学習推進の一環として、諸活動の支援となるのであれば、図書館機能の拡充のため、購入を進める。



図書館の機能の拡充が望まれます

災害に強い村づくりを

村長 ハード・ソフト事業ともに進める



古舘 幹男 議員

問 台風19号で甚大な被害を受けたが、被害が大きくなった原因を考え、災害に強い村づくりを考えていくべき。

村長 災害復旧事業の考え方は被災前と同様に復旧することを目的としており、再度の災害に対する防災・減災の観点がないが、自然災害が頻発かつ激甚化していることから国土強靱化の取組みとして国の姿勢が変わってきている。防災等も含めた災害復旧事業の導入と自主防災組織などのソフト事業とを組み合わせ、災害に強いむらづくりを進めたい。

農業用水など 配水に不足ないか

問 公共下水道の区域が広がり、生活の利便性の向上が進んでいるが、公共下水道に接続することで農業用水が不足するのでは、との声があるが、上下水道、農業用水の配分に問題はないか。

村長 異常気象により、村

内の各河川でも水量が安定せず、特にも水量の減少を感じているが、村内で農業用水と取水箇所が同一となっているのは泉沢浄水場のみで、平成28年の台風第10号による被災以降、施設の改修を行い、河川の水量の増減に関わらず安定した水量が確保できており、農業用水への配分不足は生じていない。公共下水道等への接続が進んでも給水人口や年間の給水量の点から現時点では問題はないと考えている。

遊具の整備は

問 マリンローズパーク内の遊具が使えない状態となっているが、ワイナリーの開設に伴う来訪者の増加から、補修等の整備の考えは。

村長 点検の結果、遊具の劣化や腐食などにより使用が困難であるため、ロープを張り、遊ばないよう対策を講じた。村としては、撤去することで検討している。

問 家族連れのお客さんが増えていることから、撤去ではなく、子供たちが遊べるよう施設を充実するべき。

村長 本遊具は、年数も経っており、腐食が進行していることから補修に相当の経費が掛かることなどから、撤去することとし、新たな遊具等の整備は、まだ検討していない。



遊具などの施設の充実が必要です

小学校建設予定地 検討の余地がある

問 野田小学校の建設予定地について、住民懇談会で

の村民の声はどうか。

教育長 主な質問は、工事スケジュール、跡地の利用等であった。それに対しては、財源の都合上令和2年度中に着工したいこと、跡地の利用は今後検討することなどを回答している。意見として、「建設場所をもっと議論すべき」、「慎重に検討すべき」といった意見のほか、建設場所の提案もあった。

問 建設予定地は、もっと検討の余地があるのではないか。周辺の道路整備にも莫大な予算をつぎ込まなければならぬ。違う場所を検討する考えはないか。

村長 様々な意見があり、面積要件等もあるなかで安全・安心を少しでも高めるため、検討委員会で協議して選定した。安全対策等は調査等をしっかり行っていく。道路は、中学校の向かい側の道路と同程度の幅で歩道を確保して整備していきたい。



山田 陽子 議員

台風19号を教訓に何を得たか

村長 避難行動を促す難しさ

問 台風19号における教訓とハザードマップの見直しをはじめ防災に強い村づくりをどう構築していくか。また、災害時の要支援者の状況は。

村長 避難を呼びかけたが危機意識が十分に伝わらず、「避難意識の向上」と「避難行動を促す方法」の難しさを実感した。洪水ハザードマップは、洪水浸水想定区域については、令和3年度までには指定を受ける予定であり、これをもって作成したい。ハードとソフト事業をバランス良く実施し、防災に強い村を構築していく。「災害時要支援者名簿の状況」は対象となる75歳以上の高齢者のみ世帯、各種障がい者手帳保持者、要介護3以上の者で全件名簿登録者412人、同意者名簿登録者は75人。

問 同意者名簿登録者の避難対応は。

村長 役場職員や消防団または自主防災組織で対応した。

問 要支援者や高齢者につ

いては、バスなどで対応する考えはないか。

村長 全ての基本は、「逃げる、避難する」という意識を持つこと。住民の意見等を聞きながら対応する。

問 自家用車での避難対応による駐車場確保について。

村長 今後検証していく。

問 妊産婦や乳幼児をもつ家族の指定避難所設置について。

村長 検討する。

地域包括支援センター設置場所の検討が必要

問 野田村包括支援センターの直営化に伴い、庁舎内に設置することとした経緯は。

村長 保健センターにはスペースがないことや介護保険を担当する福祉班との連携を図るため、庁舎内に設置することとした。

プレミアム付商品券申込方法の検討を

問 現在のプレミアム付商品券の申込方法では公平性が担保できないので、年2回を1回にする考えはないのか。

村長 村商工会と検証しながら改善策を協議していく。

問 年齢や時間などに制約されることのない電話予約とする考えはないか。

村長 公平性を考慮した形を検討する。



申込方法に検討の余地があります

※出典…内閣府プレミアム付商品券HP
(www.02premium.go.jp)

乳幼児をもつ保護者が使えるトイレ整備を

問 村体育館や生涯学習センター等の施設のトイレにベビーチェアやおむつ交換台等の整備が必要ではないか。

村長 体育館と生涯学習センターの障がい者専用トイレを多目的トイレとして改善する余地はある。総合センターは工夫が必要だが、子育て支援の一環として改善に向け検討していく。



幅広い方が利用できるような施設整備が必要です

【その他の質問】

- 野田小学校新築整備計画
- 給食センター配送車

小学校建設予定地 再検討を

村長 各種調査に基づき精査していく



小野寺 豊 議員

問 新しい小学校の建設は、村民にあまり周知されておらず、関心も薄いなかで場所が決められているが、各年代、各層からの意見や要望はたくさんあると思われる。そのなか、新しい小学校は、現在の中学校の校庭へ建設すべきと考えている。中学校の校庭は、56～7年前、なだらかな丘陵地を掘り下げて切土造成したため、高い地耐力が期待される一方、予定候補地は傾斜地で強大な杭が必要となることから工事が余分に発生し、工期の延長、工事費の増額が懸念されるが、見解は。

村長 今後、建設場所の測

量や地質等の各種調査、配置や造成計画を含めた全体的な基本計画を策定し、建設スケジュールや建設コストを精査していく。

問 中学校の校庭であれば、すぐ着工できるため、限られた事業計画の中でのメリットは高いが、予定候補地では、開発許可申請や埋蔵文化財調査などにより土地の造成着工、造成工事そのものに長い日数が必要になると考えられるが、見解は。

村長 該当する法令等は、段階を踏むごとにそれぞれクリアしていきたい。



児童の安全が第一です
写真は、中学校校庭（上）と建設予定地（下）

問 中学校の校庭であれば、校舎を東向きに配置することで、1階からも2階からも野田湾が一望でき、解放感がある。夏場には涼しい浜風を取り入れることもできるが、予定候補地では、野田湾を望むことはできない。中学校の校庭に建設する場合、中学校のテニスコートを無くして、運動会ができるトラックに改修し、候補地に野球場、テニスコート、運動場等を新設してはどうか。

村長 学校から道路を横断することで交通事故の危険性や用地の確保など困難が生じる。

都市計画区域を問う

問 村では、昭和44年に都市計画区域を設定し、6つの用途地域を指定しているが、都市計画区域内全体の面積と用途地域ごとの面積を示せ。

村長 都市計画区域面積は420ha、用途地域ごとの面積は第1種中高層住居専用地域が9.7ha、第1種

住居地域が18ha、第2種住居地域が6.1ha、近隣商業地域が9.6ha、準工業地域が7haとなっており、用途地域合計の面積は50.4haとなっている。

問 都市計画図で、区域内・外の境界が不明瞭な所が散見されるが、対応は。

村長 本村の都市計画図は1万分の1の縮尺で作成されているが、図面上で区域の内外が不明瞭で判別できない場合は、担当課で対応する。

問 村の都市計画図の凡例の中で都市計画区域用途非指定区域となっているが、都市計画法上では、都市計画区域用途無指定地域と表記しているが、この違いを示せ。

村長 資料の一部の都市計画図の「凡例」に、「都市計画区域用途非指定区域」と記載があるのは、担当課が業務で使用する位置指定道路の状況確認用の資料であり、正式には用途地域「無指定」となる。



米田 徳一郎 議員

少子化対策の成果は

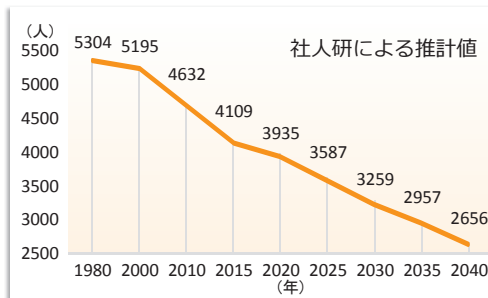
村長 一定の成果が出ている

問 少子化対策の具体的な施策とその効果、2040年までの人口推計目標を国勢調査毎に示せ。

村長 安心して子育てができる環境の構築に取り組んでおり、過去5年の出生数は、年により増減はあるものの一定レベルを維持している。国勢調査ごとの人口推計目標は、2020年の4329人から、2040年は3923人と毎年平均84人の減少を見込み、以降は3700人規模を維持することを目標に取り組んでいます。

問 人口減少をどのように捉え、対策を講じたか。また、その成果は。

村長 年少人口及び生産年齢人口の減少、老年人口の増加している状況だが、背景として進学や就職、結婚による流出が考えられる。出生率は、国・県平均より高い水準で推移しており、支援策の一定の成果が出ていると認識している。人口減少は、様々な要素が絡み合うことから村総合戦略に基づき、長期的な視点で取り組んでいきたい。



人口減少対策を何も講じなければ、2040年には人口が2,600人まで減少すると予測されています

防災対策の現状と課題は

問 今回の台風19号では、小河川でも氾濫越流が多く、各河川流域の被災状況に応じた対策が必要となるが、現状と課題、対策を示せ。

村長 本村を流れる河川は、堆積土砂や立木等による流下能力の低下に伴う越流など、浸水被害が懸念される。各河川管理者では、維持管理に努めているが、限られた予算内での抜本的な対策は難しいことから日常の河川巡視に努め、障害物等の早期発見と速やかな除去により被害の軽減に努めている。南浜地区においては、国道を超えた海側の水路の

断面確保等を進め、被害の軽減に努める。

避難場所に課題あり

問 避難勧告、指示が頻繁に発令されるなか、避難所や避難指定場所など多くの課題があるが、対策は。

村長 指定避難所は、災害の危険性がなくなるまでの間、滞在させる施設で、小学校・中学校・えぼし荘・総合センターを指定している。緊急避難場所は、住民の生命の安全確保を目的に高台や公園などを指定し、さらに、逃げ遅れ等の際に身の安全を確保する場所として北区の集会所、保健センターを指定している。また、地域の連帯感に基づく「自分たちの地域は自分た



中沢地区など、緊急避難所や指定避難所の見直しが必要です

ちで守る」という自主防災組織の結成は、重要と認識している。

水産振興施策は

問 新たな漁業振興のための支援策は。

村長 第1次産業の共通課題である担い手確保のため「漁業担い手育成協議会」を設立し、情報共有を進める。磯焼け対策は、水産庁が策定した「磯焼け対策ガイドライン」により取り組んでいただき、必要に応じ支援していきたい。

問 下安家漁港の岸壁の歪みや痛み、雨水流入対策の改修を問う。

村長 下安家漁港の物揚げ場の沈下や欠損部などの補修を進め、漁港の機能強化を図っている。雨水流入対策は、流量配分の調整などを関係機関と協議していきたい。

【その他の質問】

○「村長と語る会」の成果と課題は
○小学校の建設について

村民のニーズ把握十分か

村長 声をあげやすい環境を整備していく



障子上 文義 議員

問 村づくりにおける住民からのニーズ把握について、住民から求められるニーズは、どうしても道路や施設の整備など、ハード面での要望が目立ってきているのが現状であり、一般の住民懇談会においても、地域整備課に対する質問や意見が多く見受けられた。道路や施設の破損、倒木、側溝の詰まりなどは、誰が見ても対応すべき事柄であり、住民も言いやすい、手を上げやすいものであると考えているが、住民生活における個人の抱える事柄や、目に見えにくいソフトな問題は、内容が多種多様で複雑なものが多く、住民の声として上がって来づらいものかと考えている。そういった事柄に対するニーズの掘り起こしが大切であり、特に、震災復興のハード面での整備が完了した今後においては、目に見えにくいニーズの把握が必須である。これまで実施してきた各種相談会、また、現在

も実施しているものがあると思うが、これまでの事業のほかに、今後、村として何か考えはないか。

村長 村づくりにおける住民からのニーズ把握については、住民のニーズを把握する場や方法としては、従来から実施している「村長と語る会」をはじめとした懇談会などのほか、行政連絡員や民生委員などから寄せられる地域住民の相談、保健師の健康相談・健康教育事業、地域包括支援センターの介護予防や相談事業、野田村社会福祉協議会が実施するサロン事業などの機会に寄せられるものなどがある。今後の取組みとしては、やはり住民から声を上げていただくことが大事であるため、様々な相談窓口を明確にして広報し、住民がより相談しやすい環境を整備していくほか、機会を捉えて住民からの意見・要望などを聞いていきたい。



村民が相談しやすい体制づくりが必要です



中川 昇 議員

新年度予算の編成方針は

村長 重点的かつ効果的に財源活用

問 新年度の予算編成にあたり、取り組むべき課題は多いと考えるが、予算編成の方針は。

村長 あらゆる手段で歳入確保に取り組み、事業等の効果・効率性等の検証、歳出の見直し、政策の優先度に応じた財源の最適配分など、限られた財源を重点的かつ効果的に活用する。

問 政策の優先度を問う。

村長 限りある財源のなかから住み続けたいと思える村をつくるため、それぞれの事業等を1つ1つ精査し、優先度を決めていく。

総合計画・総合戦略 現況は

問 平成28年に定められた村総合計画の進捗状況を示せ。

村長 約76%となつてい

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略をどう展開していくのか。

村長 第1次産品など本村の魅力ある資源を活かした雇用の創出、魅力ある住環境の整備、出会いや交流、外部とのつながりの深化を含めた住民コミュニティの構築等を重点項目として各種事業を進めている。

中小企業等の支援は

問 中小企業・小規模事業者振興条例を制定する考えは。

村長 本条例は、中小企業等の振興について、基本理念を定めて必要な施策の立案や総合的な推進を図ることが目的と認識しているが、本村ではこれまで資金調達の円滑化や起業支援などの施策を講じているほか村商工会でも、法に基づく「経営発展支援計画」の認定を受け、事業計画策定支援などの課題に対する支援を行う「伴走型事業」に取り組んでいることから、村商工会との情報共有に努めながら支援策を展開していきたい。

地域包括ケアシステム 構築を

問 本村を含む沿岸被災地で、災害公営住宅等への転居に伴う生活環境の変化などをきっかけに高齢者などの孤立化や生活不活発病が懸念されている。住み慣れた地域で生活し続けられるよう医療・介護・生活支援が包括的に提供されるシステムの構築が必要と考えるが所見は。

村長 地域包括ケアシステム構築にあたり、専門職などとの協議の場や医療等の社会資源の不足が課題となっている。来年度から地域包括支援センターを直営化することで、保健・福祉・介護予防などの一体的な取組みを推進し、地域包括ケアシステムを構築していく。

中学生の海外派遣研修 実施の考えは

問 昨今の国際化、グローバル社会の進展のなかで異国の地でのホームステイを

通して外国の文化、歴史等を学んだ中学生は大きく成長し、本村のリーダー的役割が期待されるほか、国内外で活躍する人材にもなりうることから本村中学生の海外派遣研修を実施する考えはないか。

村長 以前、本村でも取り組んでいたが、訪問先の確保や少人数の派遣による帰国後の波及効果が低いことなどから、事業を中止した経緯がある。震災後、国内外を問わず、様々な交流が生まれており、これらの体験等を通して学ぶことも大事であると考えられることから、現段階では計画していない。



国内外問わず交流を続けていく必要があります

第2回臨時会（10月28日）

議案番号	議案名 及び 内容	古館幹男	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	野崎泰斗	丹野和子	中川昇	小野寺豊	障子上文義	山田陽子	結果
承認第1号	令和元年度野田村一般会計補正予算（第4号）の専決処分に関し承認を求めることについて ⇒台風災害に係る復旧事業費などの予算を補正したもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第1号	令和元年度野田村一般会計補正予算（第5号） ⇒台風災害に係る復旧事業費などの予算を補正しようとするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	令和元年度野田村公共下水道事業特別会計（第2号） ⇒台風災害に係る復旧事業費などの予算を補正しようとするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	令和元年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第2号） ⇒台風災害に係る復旧事業費などの予算を補正しようとするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

第2回定例会（12月10日～13日）

議案番号	議案名 及び 内容	古館幹男	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	野崎泰斗	丹野和子	中川昇	小野寺豊	障子上文義	山田陽子	結果
報告第1号	公用車の運転管理瑕疵に係る損害賠償事件に関する専決処分の報告について ⇒公用車による交通事故に伴う損害賠償が発生したもの。	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
議案第1号	令和元年度野田村一般会計補正予算（第6号） ⇒台風災害に係る復旧事業費（三陸鉄道・河川等）、小学校建設基本計画等の経費などの予算を補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	令和元年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） ⇒一般管理費などの予算を補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	令和元年度野田村公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） ⇒台風災害に係る復旧事業費などの予算を補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	令和元年度野田村国民宿舎事業特別会計補正予算（第3号） ⇒施設管理費などの予算を補正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	会計年度任用職員の給与等に関する条例 ⇒非正規職員の処遇改善を図るため、所要の整備をするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	森林環境譲与税基金条例 ⇒森林整備等に要する経費の財源に充てるための基金を設置するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 ⇒非正規職員の処遇改善を図るため、所要の整備をするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例 ⇒成年被後見人を理由に不当に差別されることのないよう所要の整備をするもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 ⇒国の法改正に伴い、関係条例も併せて改正するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて ⇒盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合が解散することに伴い、規約の一部を変更するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議に関し議決を求めることについて ⇒盛岡市・矢巾町都市計画事業等組合が解散することに伴い、財産（職員の退職手当等）を処分するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	教育委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて ⇒小原良樹委員の後任として、新たに佐藤仁昭氏に任命するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
発議案第1号	国による妊産婦医療費助成制度創設等を求める意見書の提出について ⇒国に対して意見書を提出するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
発議案第2号	私学助成の充実を求める意見書の提出について ⇒国に対して意見書を提出するもの。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は採決に加わらない

議会人として 資質向上図る

研修
レポート

北部地区町村議会 議員研修会

○研修月日：11月15日
○参加者：全議員
○内 容
「地域のためにできること／できないこと」と題して、八戸工業高等専門学校の河村教授から、災害ボランティアなどの経験などからまちづくりに関する講演が行われました。その後、県北地区の町村議会議員で情報交換会が開催されました。



町村議会 広報担当者研修会

○研修月日：11月21日～22日
○参加者：丹野和子、小野寺豊、古舘幹男、中川大和、山田陽子
○内 容
「議会だよりが読まれ、伝わる」と題して、芳野 議会広報サポーターから講演が行われた後、議会広報クリニックが行われ、あらかじめ申込みをした議会の広報誌の講評が行われた。本村の議会だよりは概ね良好の評価をいただいた。



町村議会 新議員研修会

○研修月日：12月20日
○参加者：野崎泰斗、丹野和子、中川 昇、小野寺豊、障子上文義
○内 容
「地方自治における議会及び議員の役割」と地方議会の組織と運営について・主な会議原則の内容と対応について」と題して、岩手県立大学の齋藤特任教授等から議会・議員の役割、会議の原則などの講演が行われた。

久慈地区市町村議会 議員研修会

○研修月日：11月28日
○参加者：全議員
○内 容
「北いわての未来づくりについて」と題して、県北広域振興局の南局長から、県北地域の現状、今後の人口動態、「いわて県民計画」における県北地域の振興施策等についての講演が行われた。その後、久慈地区の市町村議会議員で情報交換会が行われた。

町村議会 委員長研修会

○研修月日：10月1日
○参加者：米田徳一郎、米田 忠一、中川 大和
○内 容
「町村議会における委員会活動の実態」と「議会制度と委員会の役割について」と題して、新潟県立大学の田口准教授等から委員会などの役割や意義、議員定数などの講演が行われた。

青森県外ヶ浜町議会 視察来村



心温まるご支援に感謝いたします

議会広報誌の編集や委員会活動に関する研修として青森県外ヶ浜町議会（鈴木進議長）の議会広報特別委員会（安藤英博委員長）委員5名と鈴木議長が11月19日、視察研修で来村しました。

また、外ヶ浜町議会から小・中学校の児童生徒に向け、ノートの寄贈があり、廣内議長が代表して受領した後、村内の小中学校に届けました。

小・中学校の児童生徒に
ノートを寄贈

新年の ごあいさつ

謹んで新年のお慶びを
申し上げます。

東日本大震災から9年
経過する年となります。
3年前の台風10号、昨年
の台風19号と度々の災害
からの復興完遂はもちろ
ん、既存する諸課題につ
いてもしっかりと見据え
ながら議会の役割と責任
を認識し、村民の負託に



廣内 和之 議長

応えるべく議員一丸と
なっており組んで参りま
す。

令和2年度は三陸沿岸
道路の全通と東京オリ
ンピック・パラリンピック
大会の年です。「災害の
ない、事故のない、活気
ある年」でありますよう
祈っております。



災害のない平穏な年となることを祈念します

議会だよりクイズ

《問題》

小学校建設のための基本設計経費等
として補正した予算額は？

- ① 50万円
- ② 5,000万円
- ③ 50億円

正解者の中から抽選で3名の方に
豪華景品をプレゼント！

【応募方法】

はがきやFAXなどで、答え、住所、氏名（ふりが
な）、年齢、連絡先を記入してご応募ください。応募は
一人1通までとし、匿名での応募は受け付けません。
議会だよりに対するご意見もお待ちしております。

【応募先】

〒028-8201 九戸郡野田村大字野田20-14
野田村議会事務局「議会だよりクイズ」係まで
FAXの場合は0194-78-3995まで

【締め切り】2月29日消印有効とします。

【当選発表】

次回号で当選者（特に断りが無い限り氏名）を発表し
ます。

☆前号（149号）の当選者☆

「中野 佐加恵さん」、「澤口 恵達さん」、「澤口 奏さん」

あとがき

新体制での広報2号目の
発行です。12月定例会の一
般質問では、8人が登壇
し、各分野における村の考
えを質しました。限られた
広報紙面のなか、今後とも
編集に工夫を凝らし、多く
の村民の方々から手に取っ
て読んでいただける誌面作
りをと考えています。新型
コロナウィルスが早く終息
し、オリンピック・パラリ
ンピックが滞りなく開催
終了することを願っており
ます。
（小野寺（豊）

発行責任者

議長 廣内 和之

広報編集委員会

委員長	丹野 和子
副委員長	小野寺 豊
委員	古舘 幹男
委員	米田 忠一
委員	中川 大和
委員	山田 陽子